

明けましておめでとうございます。新しい年の幕開けです。今年は東京でオリンピックが開催されるオリンピックイヤーです。また「子年」にあたり、再び新しい十二支のサイクルがスタートする年でもあります。心も体もリフレッシュし、新たな気持ちでスタートを切りましょう。「窮鼠猫を噛む」ということわざがあります。英語で言うと、*"Despair makes cowards courageous."* ネズミは必死になるとネコにでも噛みつく勇敢さを持っています。ネズミ年にふさわしく、今年がみなさんにとって飛躍の年であることを願っています。

人権教育集会を開催

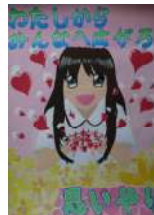
12月19日（木）に本校体育館において、人権教育集会を開催しました。本校では生徒人権委員会が発足してから、人権委員が「手作り」の形式でこの人権教育集会を行ってきました。この伝統を受け継ぎ、今回もみんなで力を合わせて準備をし、発表しました。



《人権作品の表彰》

人権ポスターの部

右の3名のみなさんの作品が優秀作品に選ばれました。いずれも県が主催する「令和元年度人権尊重の意識を高めるためのポスター展」に出品し、富永さんの作品がみごと入選作品に選ばれました。



1年2組
富永 乃愛留さん



1年2組
澤井 凌歩さん



1年2組
岩田 凜々花さん

人権作文の部

以下の6名のみなさんの作品が優秀作品に選ばれました。

「本当の友達とは」
「人権について考える」
「人と私といじめと」
「大切な人の存在」
「男女での固定概念」
「病気も含めて自分、個性」

1年2組 井上 佳奈さん
2年1組 新口 竣太さん
2年1組 山中 友希さん
3年1組 河野 葵葉さん
3年1組 小西 彩花さん
3年2組 大西 李乃さん

人権標語の部

以下の10名のみなさんの作品が優秀作品に選ばれました。菊池さんの作品は、大洲市の2020年人権カレンダーに採用されました。

「いつだって 仲間がいるから がんばれる」
「いじめる理由 差別する理由 そんな理由はどこにもない」
「キャンパスに 自分色を 描こうよ」
「悪口の 書き込み消えない SNS」
「振り返ろう 自分がしたこと 言ったこと」
「ちょっと待って! 言っていない? 書いていない? その言葉」
「『冗談よ』 それでは済まない その言葉」
「傍観者 やってないと 言えますか」
「考えよう 相手の気持ち 伝えよう 自分の思い」
「忘れない ごめんなさいと ありがとう」

1年1組 松田 淳樹さん
1年2組 菊池 春華さん
1年2組 谷口 菜々美さん
2年2組 末永 琉己さん
2年2組 廣澤 杏莉さん
2年2組 古川 叶歩さん
2年2組 宮本 湧菜さん
3年1組 西田 さくらさん
3年1組 松岡 菜津希さん
3年2組 小野 夏芽さん

表彰された作品はいずれも、人権問題に対する鋭い感性と高い問題意識に基づいた素晴らしい作品でした。表彰されたみなさん、おめでとうございます。人権作文を発表された河野さん、井上さん、ありがとうございました。

《全国高校生集会・愛媛県友の集いの報告》

今年度は人権委員4名が、8月18日(土)、19日(日)に鹿児島県で行われた全国高校生集会・愛媛県友の集いに参加しました。差別の現実を知り、人権問題について多くのことを学ぶことができました。



以下に、人権教育集会の生徒の感想をいくつか紹介します。

- ★ 私は尾田先生主催の人権教育集会が好きです。毎年何の音楽が流れるのか楽しみにしています。(3年生女子)
- ★ 標語は短い言葉であれほど表現できることがとてもすごいなと思った。(1年生男子)
- ★ 標語はどれも共感できる作品ばかりだった。差別やいじめが少しでもなくなるためにと考えた作者の思いが、ひしひしと伝わってきた。(1年生男子)

- ★ 一番感動したのは井上さんの人権作文だ。私も似たような体験をしたので気持ちがすごく分かったし、思っていることや伝えたいことをきちんとまとめて発表していたので、内容にも伝えることの勇氣も素晴らしいと思った。(2年生女子)
- ★ 大農の人権委員は全国大会等にも参加し、様々な活動をしてすごかった。(2年生男子)
- ★ 人権委員会の報告では、6名の人がみんな意欲的に取り組んでいる様子がうかがえた。初対面の人の中で意見を伝え、人権について深く考えることができたのだろうと思うと、少しうらやましかった。(3年生女子)



- ★ 人権委員の発表は、大きな声で聞き取りやすく、スライドも見やすく、快適に人権のことを学ぶことができた。(3年生男子)
- ★ この1時間でたくさんのことを考え、たくさん感動することができて、自分にとってとてもいい時間となった。(1年生男子)
- ★ 人権教育集会をすることで人権について多くのことを知ることができる。なので来年も集会を開き、後輩に学んでほしい。(3年生女子)



- ★ いじめや差別を許さないだけでなく、減らしていくことも大事なんだと思った。そのために、自分に何ができるのか、どんな工夫をするのか考えてみようと思わせる集会だった。(2年生男子)
- ★ 発表を聞いていて、たくさんの人権問題がまだ残っていることも分かったし、それをなくしていくにはどのように行動していかなければならないのかも考えさせられた。(3年生女子)
- ★ これからの人権の授業を今よりももっと集中して受けようと思った。いじめや差別問題のことを、他人事ではなく自分のことと思って生活していきます。(1年生女子)



いじめSTOP！愛顔あふれる地域フォーラム2019に参加

12月21日(土)に大洲市青少年交流の家で開催された「いじめSTOP！愛顔あふれる地域フォーラム2019」に、本校の人権委員が参加しました。南予地区の小・中・高校生が集まる大会で、全体会では、代表児童による「いじめSTOP愛顔の子ども宣言」が宣誓された後、「いじめ防止に向けて～取組の成果と課題から考える～」というテーマでパネルディスカッションが行われました。その後の分散会では、「いじめ防止に向けて、どうすれば行動できるか・何ができるか」について話し合いました。



以下に生徒の感想を紹介します。

- ★ パネルディスカッションでは、小・中・高・大・PTAの各々の人権に関する取組を報告されていた。特に印象的だったのは、朝の挨拶運動でハイタッチをするという活動だった。朝からコミュニケーションがとれていいスタートが切れそうだった。分散会では司会を任されたが、知らない人ばかりだったので思うように進行ができず、大学生の方に協力してもらって何とか乗り切ることができた。様々な年齢の方の意見を聞くことができてとても参考になった。(3年生女子)
 - ★ 分散会では「どのような雰囲気になれば相談しやすいのか」について話し合った。いきなり「大丈夫？何かあった？」と声をかけるのではなく、「おはよう」という挨拶からはじめ、さりげなく聞いてみたりという意見が出た。私が思っていたこととは異なる意見が多くあった。今日学んだことをこれからの学校生活で生かしていきたい。(1年生女子)
- (人権教育・教育相談課 尾田)

